

E Z - W I N競馬予想新聞					23.12.10 (日) 阪神11R G1阪神J F 芝1600外A 2歳牝馬 15:40															指数				
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	前走評価	マイニング	対戦型
16	30		1	1	美)コスモディナー	牝2	55	14	A	注			6,1	3,2	3,1	7	87	5	松岡正	伊藤伸			14	16
5	27		1	2	栗)クイックバイオ	牝2	55	15	B	△			12,6	3,2	1,1	0	389	3	L.モ	須貝尚	R		8	8
13	41		2	3	美)キャットファイト	牝2	55	2	A				3,1	5,1	7,4	100	140	43	大野拓	上原博		B	6	11
6	6		2	4	栗)ニュージェネラル	牝2	55	17					2,10			0	0	3	田口貴	武英智			18	13
10	29	☆	3	5	栗)スプリングノヴァ	牝2	55	8	B	△		B	4,3	1,1		8	138	8	和田竜	鮫島一		B	16	15
3	36		3	6	美)ステレンボッシュ	牝2	55	5		△		A	6,1	6,2	5,1	29	105	22	C.ル	園枝栄			7	7
15	48	▲	4	7	美)アスコリピチェーノ	牝2	55	6	A	注		A	5,3	10,1		18	82	22	北村宏	黒岩陽	R		4	10
2	19		4	8	栗)プシプシーナ	牝2	55	13				B	1,5	2,3		10	87	8	浜中俊	小栗実			10	14
3	32		5	9	美)テリオスルル	牝2	55	16	B	△		B	1,10	3,4	1,2	5	132	4	古川吉	田島	R		15	18
5	46	○	5	10	美)コラソンビート	牝2	55	3	A	注		A	6,2	5,1	1,3	18	52	11	横山武	加藤士	R	B	1	1
2	17		6	11	栗)スウィープフィート	牝2	55	10					9,1	9,1	4,4	10	67	8	永島圭	庄野靖	展		12	12
5	41	★	6	12	栗)シカゴスティング	牝2	55	12	A	△	C	B	7,2	2,1	2,2	10	92	5	鮫島克	庄野靖	R	B	3	4
5	30		7	13	栗)カルチャーデイ	牝2	55	7	A		C	A	4,8	4,3		0	0	5	酒井学	四位洋	R	B	2	9
6	46	◎	7	14	栗)サフィラ	牝2	55	1		血	D	A	6,2	5,1	3,4	46	85	43	松山弘	池添学		A	5	2
8	48		7	15	栗)ナナオ	牝2	55	11	A	△	B	B	1,2	3,4	2,1	9	92	5	西村淳	小栗実			13	3
6	42	△	8	16	栗)ルシフェル	牝2	55	4	B	注			5,1	8,1	9,1	29	95	21	B.ム	齊藤崇		B	11	5
4	26	注	8	17	栗)ミライテラー	牝2	55	18		注		B	3,8	1,1		2	87	3	中井裕	飯田雄	TR		17	17
5	49	△	8	18	栗)ドナベティ	牝2	55	9	A	注	C		7,2	10,1	2,5	7	87	5	坂井瑠	矢作芳	R	B	9	6

・血統傾向

基本的に流れが速くなり、持続ラップ～消耗戦ラップになるため、上り時計が33秒台では「米国血統の持続力」が生きる事になり、上り時計が34秒以上掛かるケースでは「欧州血統の持久力」が求められる事になります。

土曜日のブラッドバイアスは欧州指向に出ており、マイル戦に出走していた4頭のモーリス産駒が全て馬券になり、ディープと欧州血統の配合馬や、ステイゴールド、ハーツクライと言った、欧州指向サンデー系の血も活躍しておりました。

今年の阪神JF注目血統は・・・

父か母父がデーブ系・ハーツクライ系・ステイゴールド系。
スパイス血統はロベルト系・サドラーズ系・デインヒル系。

・前走傾向

前走1勝クラスの場合は「父ディーブ系」で、
前走4人気以内1着である事。
※今年は母父ディーブインパクトにも注目。

前走OP特別の場合は勝っている事。

前走が重賞の場合、東京のマイル重賞で2着以内か

京王杯の3着以内馬が有力な臨戦過程となります。。

特に前走がアルテミスSで2着以内だった馬は、
複勝率が60%の最強ローテになります。

前走ファンタジーSの場合は3着以内だった馬で、
阪神JFで4人気以内に支持されているディープ系種牡馬産駒。

・予想見解

◎14番サフィラ

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

母父:ロミタス(独ニジンスキー系)

祖母父:欧デインヒル系

全兄のサリオスはG1朝日杯FSの優勝馬。

前走G3アルテミスS2着。

前走は勝ち馬チェルヴィニアが強すぎた結果で、
同世代にコントレイルがいた不運な兄サリオスと
イメージが重なりました。

今回のメンバーには、そこまで強いと思える馬はおらず、

コース最強騎手の川田Jが香港出張中と言うのも追い風。

致命的な不利が無く、普通に回ってくれば
結果は付いてくるのではないかと考えております。

○10番コラソンビート

父:スワーヴリチャード(ハーツクライ系)

母父:オルフェーヴル(ステイゴールド系)

祖母父:米ハイロー系

前走G2京王杯をレコード勝ち。

休み明けでレコード勝ちした反動は気になりますが、
父も母父も欧州指向サンデー系の配合馬で、
1Fの距離延長はプラスに働きそうです。

★12番シカゴスティング

父:ロゴタイプ(欧サドラーズ系)

母父:スクリーンヒーロー(欧ロベルト系)

祖母父:マルジュ(欧ノーザンダンサー系)

母の半姉に桜花賞馬マルセリーナ。

前走のファンタジーSは直線で両側からがチツと挟まれて追出しが遅れましたが、ひるまずこじ開けて見せた末脚の鋭さが印象的で、もう少しゴール板が遠ければ、脚が上がった勝ち馬カルチャーデイを交わせていただろうと思われました。

欧サドラーズ系種牡馬産駒は、過去10年で4頭が出走して2頭が馬券に絡んでおり、その内の1頭は、本馬と同じロゴタイプ産駒でした。

▲7番アスコリピチエーノ

父:ダイワメジャー(Pサンデー系)

母父:欧デインヒル系

祖母父:サドラーズウェルズ

祖母は英国の2歳牝馬G1フィリーズマイル勝ち馬。

従兄弟に2歳G1ホープフルSの3着馬キングズレイン。

前走新潟2歳S組は、あまり良い結果を残せておりませんが、ダイワメジャー産駒は過去に3頭が馬券に絡む好走血統のひとつ。

☆5番スプリングノヴァ

父:カリフォルニアクローム(米APインディ系)

母父:ディープインパクト

祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

牝系はスプリンターの一族ですが、
本馬は前走のサフラン賞(中山マイル1勝クラス)で、
今回ルメールJが騎乗するステレンボツシュを負かしており、
人気の格差が実力と反比例しているイメージ。

レース間隔が詰まった馬の好走が少ないレースである事を
考慮しても、中2週で出走するステレンボツシュより、
こちらの方がはるかに有利なローテーション。

また、前走が1勝クラスの場合、
サフラン賞が最も好走率が高い臨戦過程であり、
ディープインパクトを持つサフラン賞勝ち馬は
必ず馬券に入れるべき存在です。

注17番ミライテラー

父:オルフェーヴル(ステイゴールド系)

母父:ドバウイ(欧ミスプロ系)

祖母父:欧ノーザンダンサー系

血統の字面は芝血統。

それでもダートで馬券に絡むという事は、

芝なら出来る子と言う可能性を秘めております。

最低人気なので、100円でも押さえておきたいと思います。

・馬券

EZ-WIN 推奨馬券

馬連・3連複4頭ボックス

7番・10番・14番・18番

くまもん馬券

馬連・3連複流し

14-5・7・10・12・16・17・18

ワイドフォーメーション7点

5・12-5・7・10・12・14